

学校だより
「自分らしく」よさを發揮できる！

けいほく

学校だより

啓北小学校 3つの約束

- あいさつをしましょう
- 廊下を正しく歩きましょう
- 時刻を守りましょう



令和5年 6月22日 発行

帯広のことを地域の大人とともに学ぶ 「おびひろ市民学」

帯広市では、令和2年度から市内全小中学校で「おびひろ市民学」がスタートしました。主に、総合的な学習の時間等を使って、本市の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、産業、地域住民との関わりを通して、「ふるさと帯広」に対する誇りと愛着を育み、地域社会の一員として、よりよい地域づくりに関わる子どもを育てるためを行っています。小学1年生から中学3年生までの9年間で行うプログラムです。各学年で内容は異なりますが、市役所の関係課の職員や、青年会議所の方、地元企業の方などによる出前講座を行い、学習を深めています。

手話講座（5年生）



6月21日（水）には、「おびひろ市民学」として、手話講座がありました。ろう者協会の方と、市役所の障害福祉課の職員が講師となりました。ろう者の方の体験談を聞いたり、手話を使った簡単な挨拶を教わったりしました。



子どもたちは、手話の学習を通して、お互いを大切にしたりすることに気付き、支え合うことの大切さについて学ぶことができました。



おび学ファイルの表紙

【1・2年生】
むかしからの遊び
氷のお面 等

【3年生】
帯広の作物
帯広の食 等

【4年生】
アイヌ文化
防災講座 等

【5年生】
認知症センター講座
手話体験 等

【6年生】
くらしと選挙
職業調べ 等

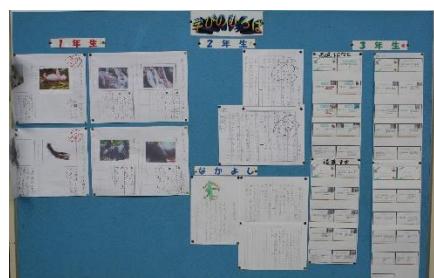
中学校へ

学びの広場

啓北小学校では、子どもたちが日々の学習の中で自信をつけたり、他学年の学習にも興味や関心がもてるよう、1階のロビーホールに「学びの広場」と称して、各学年の学習の様子がわかるノートのコピーを掲示しています。

今年度1回目は、各学年の国語の学習で作成した成果物です。ご来校の際に、ぜひご覧ください。

※記述力を高めるために、クイズづくりや説明書づくりの学習や、筆者の考え方や事例の示し方に対する自分の考え方をパソコンでまとめた学習を行ったものもあります。



水道・下水道出前講座（4年生）



どうやってできるの？ 帯広の水

6月9日(金)は、帯広市の水道課から講師をお招きし、4年生が水道・下水道の働きについて学ぶ講座がありました。

ペットボトルでも売られていた帯広のおいしいお水です。家庭や学校で使われているこの水が、どのように作られ、使った後の水がどのようにきれいになるのかを教えていただきました。

私たちが利用している水道・下水道のしくみと水の循環について、学びを深めることができました。



40年の歴史と伝統を引き継ぐ

啓北のことを
もっと知って
好きになろう！

校章は、第1期卒業生が卒業する直前の昭和59年2月18日に校歌とともに制定されました。太陽に向かって飛翔する鳥たちの姿を抽象化し、中央の啓北の2文字を配しています。

当時、図工を指導していた本間義視先生が図案を整理して決定したものです。



平成19年度にスタート 学校支援地域本部事業

帯広市では、文部科学省の委託を受け、保護者や地域住民が学校を支援する活動が平成19年度にスタートし、本校はそのモデル事業の指定を受けました。その際に発足したのが「啓北小学校ネットワーク委員会」です。この事業では、地域の大人が学校を支援する活動を通じて、地域の連帯感を形成するとともに、子どもたちの「知・徳・体」の向上に資することができる社会づくりを目指して取り組んできたものです。帯広市でも先進的に取り組んできた本校であり、啓北の子どもたちは、とても恵まれた地域の環境の中で育ってきております。学校を支援していただいている皆さんに感謝いたします。



8月19日(土)

「啓北みんなの盆踊り」
復活！

<主催：啓北ネットワーク委員会>

3枚の写真は、コロナ禍前の平成30年度の「啓北みんなの盆踊り」の様子です。とても賑やかに行われていたことがわかります。コロナ禍となり、実施できない状況が続いてきましたが、学校の教育活動がコロナ禍前に戻りつつある今年度は、この盆踊りを復活させる予定で準備を進めています。

啓北ネットワーク委員会の地域コーディネーターの吉田さん、川瀬さんを中心に、各団体の協力を呼びかけているところです。保護者の皆さまの協力も必要です。子どもたちの笑顔のために、盛り上げていきましょう！

※お祭りについての詳細は、後日連絡があります。

学校は地域の皆さんに支えられてきました。地域の子どもは地域で育てる土台があります。